



5月23日、洛南高等学校附属中学校（京都府）生徒242人が知覧特攻平和会館周辺に建立されている灯籠の清掃を行いました。

灯籠磨きの前に生徒代表の小松璃子さんが「先ほど特攻平和会館で私たちと同じ年頃の人たちのお手紙を拝見しました。私たちはこの平和な世の中で生活できることの幸せ、人の命の尊さを感じながら、一つ一つ心を込めて磨いていきます」とあいさつ。生徒たちは、一人一人一つの灯籠を丁寧に磨き上げていました。その後、生徒たちは南九州市内で2泊の民泊学習を行い、農作業や史跡巡りなど、教室では学べないことを体験しました。



▲洛南高等学校附属中学の生徒 242 人。平和学習の一環として始まったこの清掃活動は今年で6回目になります。



▲戦争で犠牲となった先人を思い、今ある命に感謝しながら灯籠を丁寧に磨く生徒たち。

5月20日、川辺地域の田代小学校で、第71回閉校記念大運動会が開催されました。来年度から川辺小学校へ再編されるため、今回が田代小学校最後の運動会となりました。天候にも恵まれ、児童、先生、地域の方々や遠方から駆けつけた卒業生など全員の参加で、親子・地域競技を含む全22種目の競技で盛り上がりしました。綱引きでは、今まで児童同士の対決をしたことがなかった田代小の児童たち。最後の運動会に川辺小学校の児童たちが応援に駆け付け、念願の児童同士の対決ができ、会場からの声援をうけ、力強く綱を引き合いました。



▲田代小学校児童 VS 川辺小学校児童。力を合わせ、“よいしょ”“よいしょ”。



▲会場内の全員で「田代」の人文字を描き、記念撮影。

全

～南九州市空手道連盟（錬武会知覧）～ 日本・九州大会出場決定

4月29日に開催された第52回全空連鹿児島県空手道選手権大会（個人戦）で、南九州市空手道連盟（錬武会知覧）の子どもたちが、優勝や入賞するなど大活躍を見せました。中でも好成績を残した有村史愛さん（颯娃小1）と新山陽斗さん（颯娃小1）は全日本と九州大会に、有村文慶さん（颯娃小3）と猪狩頼夢さん（知覧小4）と有村結心さん（颯娃小5）は九州大会に出場します。



▲南九州市空手道連盟（錬武会知覧）の子どもたち。6月の九州大会（熊本市）や8月の全日本大会（東京都）に向けて練習に励んでいます。

武

～にぎわい回廊整備完成イベント～ 家屋敷庭園活性化の一助に

5月3日、知覧武家屋敷庭園の藤棚広場で、南薩造園協会による「にぎわい回廊整備完成イベントin知覧武家屋敷」が開催されました。このイベントは、南薩造園協会が武家屋敷庭園活性化の一助になればと開催しているもので今年で2回目になります。当日は、花苗の無料配布や新茶の試飲などが行われ、大河ドラマ効果も相まって居合わせた多くの観光客の皆さんも参加していました。



▲花苗の無料配布の様子。地元の方をはじめ、観光客の皆さんも楽しんでいました。

地

～颯娃小学校の地引網体験と海岸清掃～ 元々の海から多くを学ぶ

5月12日、颯娃地域の前原海岸で、颯娃小学校が地引網体験と海岸清掃を行いました。当日は開聞岳からの風が強く、早い潮に流された網が海底の岩に引っかかり、地引網を引くことはできませんでしたが、児童たちは、相撲をとるなど思い思いに海を楽しみ、感謝を込めて海岸清掃に取り組んでいました。清掃後は、鹿児島水産高校の福島先生による講義もあり、海の楽しさも厳しさも勉強した1日となりました。



▲海岸清掃に取り組む颯娃小学校の皆さん。地引網は残念でしたが、素晴らしい景色を誇る地元の海を楽しみました。

あ

～SOMPOボールゲームフェスタ in 南九州～ そびを通して運動に親しむ

5月13日、知覧体育館ほかでSOMPOボールゲームフェスタ in 南九州が開催されました。子どもたちに日本のトップアスリート9人がボールゲームの楽しさや技術を教え、午前の「ボールで遊ぼう！」に約50組の親子、午後の「キッズチャレンジ」では約160人の児童が、サッカー・ラグビー・バレーボール・ソフトボールについて選手たちから指導を受けました。



▲最後はみんなで記念撮影。子どもたちの手には当日参加したトップアスリートの選手たちのサイン入り修了証が握られていました。

平

～南九州市戦没者追悼式～ 和と教訓を語り継ぐ

5月18日、南九州市戦没者追悼式が知覧文化会館で行われ、顕娃、知覧、川辺地域の遺族会の方や関係者約200人が参列しました。南九州市長が式辞を述べた後、来賓の皆さんや遺族会代表が追悼の言葉をささげました。知覧町遺族会の伊佐敷護会長が、「南九州市は平和を語り継ぐまちであり、悲惨な戦争の教訓を次世代に語り継ぐことが恒久平和な世の中につながる」と訴えました。



▲参列者全員で献花をし、戦没者のご冥福を祈り平和への誓いを新たにしました。

絶

～オキチモズク観察会～ 滅危惧種の珍しい藻を観察

5月19日、勝目地区公民館で鹿児島県指定文化財（天然記念物）に指定された「南九州市川辺町中山田のオキチモズク」の観察会が開催されました。オキチモズクは、環境省や鹿児島県の発行しているレッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に分類されている珍しい藻の仲間です。鹿児島県文化財保護審議会委員の鮫島正道先生が講師を務め、オキチモズクの貴重性や生態について説明がありました。



▲実際に用水路内の動植物を観察する子どもたち。貴重な動植物が身近に存在していることを学びました。

ホ

～神殿地区ホテルのタベコンサート～ タルと共に灯る地域の光

5月19日、川辺地域の旧神殿小学校で、第23回ホテルのタベコンサートが開催されました。来場者は、地域の子どもたちによる神殿ホテル太鼓と川辺フィルハーモニー管弦楽団のすばらしい演奏を楽しんだ後、神殿川でのホテル観賞で幻想的な時間を過ごしました。また、コンサート前にはNPO法人かごしま自然学校の協力による体験ワークショップ「はいすくーる文化祭」も開催され、地域の力を感じる1日でした。



▲川辺フィルハーモニー管弦楽団と、その演奏に聞き入る来場者。コンサートの最後には素晴らしい演奏に合わせ、みんなで「故郷」を歌いました。

潮

～ばんどころ絶景まつり～ 風の中で休日を満喫

5月20日、顕娃町別府の番所鼻自然公園で「ばんどころ絶景祭り2018」が開催されました。今年で7回目となるこの催しはNPO法人顕娃おこそ会が主催し、顕娃観光協会・顕娃商工会青年部の共催で開催されています。当日は少々不安定な天候ながら多くの人が訪れ、出店での買い物や雄大な開聞岳を背にしたステージ、ワークショップや潮溜まりでの釣り体験など、思い思いに楽しんでいました。



▲雄大な開聞岳を背に踊る園児たちと見守る観客たち。自然に触れながら食べて飲んで笑って、休日を満喫していました。